

平成 25 年度日本 ICID 協会総会の開催

日本 ICID 協会は、平成 25 年 7 月 1 日（金曜日）に会員 33 名参加のもと、TKP 新橋ビジネスセンターにて総会を開催しました。

冒頭太田会長は、「世界の食糧需要は、人口増加と生活水準の向上により依然増加している。また、気候変動により世界各地で干ばつや洪水が頻発に起こり、食糧危機の不安が増している。今後、かんがい耕地面積を増やし、農産物の生産性の増加を図るためには、農業用水をより効率的に開発・管理し安定した用水の供給と排水の改良を進める必要がある」と挨拶しました。

また、ICID 日本国内委員会の佐藤洋平委員長より、「持続可能な水利用を実現していくことが不可欠である」との言葉がありました。

総会は、第 1 号議案「平成 24 年度事業報告および収支決算(案)」、第 2 号議案「平成 25 年度事業計画(案)および収支予算(案)」、第 3 号議案「役員の変更(案)」、第 4 号議案「日本 ICID 協会規約の改正 (案)」について各議案が承認されました。

総会終了後、農林水産省農村振興局海外土地改良技術室の進藤金日子室長より、「国際水議論や国際協力の現状と展開方向」について講演がありました。その中で、「国際水議論について、我が国は、水田農業の持続可能性、多面的機能の発揮等を目指してアジア諸国と連携して進めていく。具体的には、ODA や TICAD、FAO、G8 等の最近の国際会議などにおける議論を踏まえ、①世界の食料安全保障の確保、②気候変動等地球的規模の課題への対応、③自然災害・紛争後の復興の課題について重点的に取り組んでいく」と述べました。



太田信介会長の挨拶



佐藤洋平委員長の挨拶



進藤金日子室長の講演

(日本 ICID 協会事務局)